

CODE : 7771

NI NISSEY GROUP

2016年3月期 決算説明資料

2016年6月



日本の“ものづくり技術”を世界へ。

Watch Band & Glass Frame

会社概要 (2016年3月31日現在)

- ◆ 社 名 : 日本精密株式会社 (Nihon Seimitsu Co., Ltd.)
- ◆ 住 所 : 埼玉県川口市本町4-1-8 川口センタービル8
- ◆ 設 立 : 1978年8月
- ◆ 上 場 : 東京証券取引所JASDAQ市場 (1997年9月25日)
- ◆ 代表取締役 : 岡林 博
- ◆ 事業内容 : 時計バンドの製造、販売, メガネフレームの製造、販売, イオンプレーティング (表面処理加工)、釣具用部品、静電気除去器、その他製品の製造、販売
- ◆ 連結子会社 : 3社、関係会社1社
- ◆ 従 業 員 : 4,142人(連結)
- ◆ 決 算 : 3月
- ◆ 資 本 金 : 1,820百万円 (※)
- ◆ 発行株式数 : 18,428,999株 (※)
- ◆ 株 主 数 : 1,417名

(※)2016年4月4日と20日の新株予約権の行使により、現在は普通株式190,000株、資本金26百万円が増加しております。



ASEANプロジェクトの推進に向けて拠点を構築

ASEAN地域を一体と考えた 戦略的生産体制を構築



本社(埼玉県川口市)

経営の根幹である経験豊富な人間力で、企画開発・販売計画など、全てを一元管理。また、一貫した経営管理によりコスト削減。

(株)村井:連結子会社

エヌエスジー(株):連結子会社

香港支店

ベトナムでの製造不可能な部品を低コストで中国より調達。また営業・販売の基点として重要な役割を今後も担う。

NISSEY VIETNAM CO.,LTD.

- ◎時計外装部品等の製造
- ◎メガネフレームの製造
- ◎釣り具部品等の製造 他

高級品向け製品を製造

同時に、今後も当社グループの技術開発の中心としてさらに強化

NISSEY CAMBODIA CO.,LTD.

- ◎時計外装部品等の製造

普及品～中級品向け製品を製造

将来的には、隣接地に協力工場等を誘致し、
一大サプライチェーンを構築



1. 2016年3月期 業績概要

2. 2017年3月期 業績予想

3. 今後の戦略

2016年3月期 連結損益計算書

単位:百万円	2015/3期 実績	2016/3期 実績		
		実績	増減額	増減率
売上高	7,877	9,335	+1,458	+18.7%
売上総利益	1,854	2,166	+311	+16.8%
売上総利益率	23.5%	23.2%	△0.3p	—
販管費	1,759	1,884	+125	+7.1%
販管費比率	22.3%	20.2%	△2.1p	—
営業利益	95	281	+186	+194.8%
営業利益率	1.2%	3.0%	+1.8p	—
経常利益	221	97	△123	△56.1%
経常利益率	2.8%	1.0%	△1.8p	—
親会社株主に帰属する当期純利益	187	49	△138	△73.6%
当期純利益率	2.4%	0.5%	△1.9p	—

報告セグメントの状況(連結)

報告セグメント別売上高

	2012/3期	2013/3期	2014/3期	2015/3期	2016/3期
時計関連	2,983	3,664	3,350	5,437	6,990
メガネフレーム	1,977	1,953	2,188	2,062	1,951
その他	360	282	343	376	393
連結売上高	6,002	5,585	7,054	7,877	9,335

報告セグメント別利益

	2012/3期	2013/3期	2014/3期	2015/3期	2016/3期
時計関連	266	109	250	188	410
メガネフレーム	21	2	△152	△131	△186
その他	10	△28	21	37	43
報告セグメント外	35	21	14	0	14
営業利益	334	103	134	95	281



2016年3月期 連結業績の概要①

【売上高】高付加価値製品の受注好調に加え、円安効果もあり大幅増収

◎時計関連

- ・高級品向け時計バンドの受注増や、新規取引先からの受注本格化により、ベトナム工場の生産が大幅な増加。カンボジア工場への生産移管が加速し、新たなサプライチェーンを構築が進み、全体の生産が大幅増。
- ・上記の増産による売上増に加えて、円安による海外売上高の増加要因もあり、前期比で大幅増収を達成。

◎メガネフレーム

- ・村井(ブランド・フレーム部門)は、海外向け売上高は増加したものの、国内チェーン向けの売上高が減少。
- ・本体(OEM製品部門)は、国内市場の単価下落を受け、受注を抑制したことにより前期比で減少。

【営業利益】 時計関連が牽引し、全体では大幅増益

◎時計関連

- ・ベトナム工場については、円安ドン高の影響などによる人件費の増加があったものの、増収効果により前期比で増益。
- ・カンボジア工場の本格稼働と、それにより労働集約型製品をベトナム工場から生産移管したことにより、グループ全体での生産効率が向上し、前期比でセグメント利益は倍増。

◎メガネフレーム

- ・村井(ブランド・フレーム部門)については、売上減少に加え、円安による仕入コストが影響。
- ・本体(OEM製品部門)は、減収要因に加え、円安ドン高によるベトナム工場の人件費増などが影響。



2016年3月期 連結業績の概要②

【 経常利益 】 為替差損の発生等により前期比減

- ・期末にかけての急激な円高の影響により、外貨預金及び外貨建て債権、在外子会社の円建て債務等の為替差損125百万円を計上したことなどにより前期比で減少。

【 親会社株主に帰属する当期純利益 】 経常利益の減少に加え、法人税負担が増加

- ・大きな特別利益・特別損失の発生なかったものの、経常利益の減少に伴う税引前利益の減、法人税負担の増加などにより前期比で減少。

B/S、CFの状況(連結)

単位:百万円	2015/3末	2016/3末
流動資産	3,241	4,131
現預金	741	1,355
受取手形・売掛金	980	1,096
たな卸資産	1,335	1,516
その他	183	162
固定資産	2,194	2,778
有形固定資産	1,546	2,125
無形固定資産	489	465
投資その他の資産	159	186
繰延資産	56	40
総資産	5,493	6,950
流動負債	1,976	2,912
支払手形・買掛金	693	767
短期・1年内長期借入金	972	1,822
その他	310	323
固定負債	1,265	1,523
長期借入金	1,140	1,396
その他	125	127
純資産	2,251	2,483
株主資本	2,224	2,483
その他の包括利益累計額	26	27
新株予約権	—	2
負債純資産合計	5,493	6,950

単位:百万円	2015/3期	2016/3期
営業キャッシュ・フロー	△134	
税前当期純利益	220	94
減価償却費	166	218
売上債権の増減額	△115	△120
たな卸資産の増減額	△445	△200
仕入債務の増減額	124	74
その他	△15	133
小計	△63	199
利息及び配当金の受取・支払額	△43	△55
法人税等の支払額	△26	△40
投資キャッシュ・フロー	△481	△742
フリー・キャッシュ・フロー	△616	△543
財務キャッシュ・フロー	477	1,328

資産の主な増加要因

- ・流動資産:現預金 +614百万円
第三者割当増資の実施と、運転資金の増加に伴う借入金の増加
- ・有形固定資産:建物構築物 + 95百万円
機械装置 + 240百万円
カンボジア工場の建物附帯設備の増加
ベトナム工場の自動化・半自動化設備の導入
- 建設仮勘定 + 328百万円
ベトナム第4工場の着工



1. 2016年3月期 業績概要

2. 2017年3月期 業績予想

3. 今後の戦略

2017年3月期 連結業績予想

単位:百万円	2016/3期 実績	2017/3期 予想		
		予想	増減額	増減率
時計関連	6,990	7,655	+664	+9.5%
メガネフレーム	1,951	1,955	+4	+0.2%
その他	393	596	+203	+51.7%
売上高	9,335	10,206	+871	+9.3%
時計関連	410	210	△200	△48.8%
メガネフレーム	△183	4	+187	—
その他	43	92	+49	+113.9%
報告セグメント外	14	—	△14	—
営業利益	281	306	+25	+8.5%
経常利益	97	231	+133	+138.0%
当期純利益	49	352	+302	+611.7%



2017年3月期 連結業績予想の概要

【売上高】 当期も時計関連が牽引。前期比増収、売上高100億超えを見込む。

◎時計関連

- ・顧客の販売好調に伴い、新規及びリピートオーダーの受注が引き続き当期も続くことを見込む。
ベトナムでは、第4工場が竣工・稼働し高級品向け製品を増産。
カンボジアは、労働集約型製品の増産を図るとともに、新工場の建設を秋より着手。

◎メガネフレーム

- ・村井、本体ともに改善に向けた施策を行うものの、市場環境は前期と同様と想定し、ほぼ横ばいを見込む。

◎その他

- ・従来からの釣具向け部品等の他、当期からスポーツ向け金属リストバンドや、ウェアラブル関連の受注を見込む。

【営業利益】メガネフレームの改善のほか、その他セグメントの利益増により増益を見込む。

◎時計関連

- ・増収効果はあるものの、ベトナムの新社会保険法の施行による製造原価の労務費が上昇するほか、償却負担の増加もあり、前期比減を見込む。

◎メガネフレーム

- ・円高による仕入コスト、支払ロイヤルティの低下に加え、メガネフレーム部門の統合による販管費の低下を見込む。

◎その他

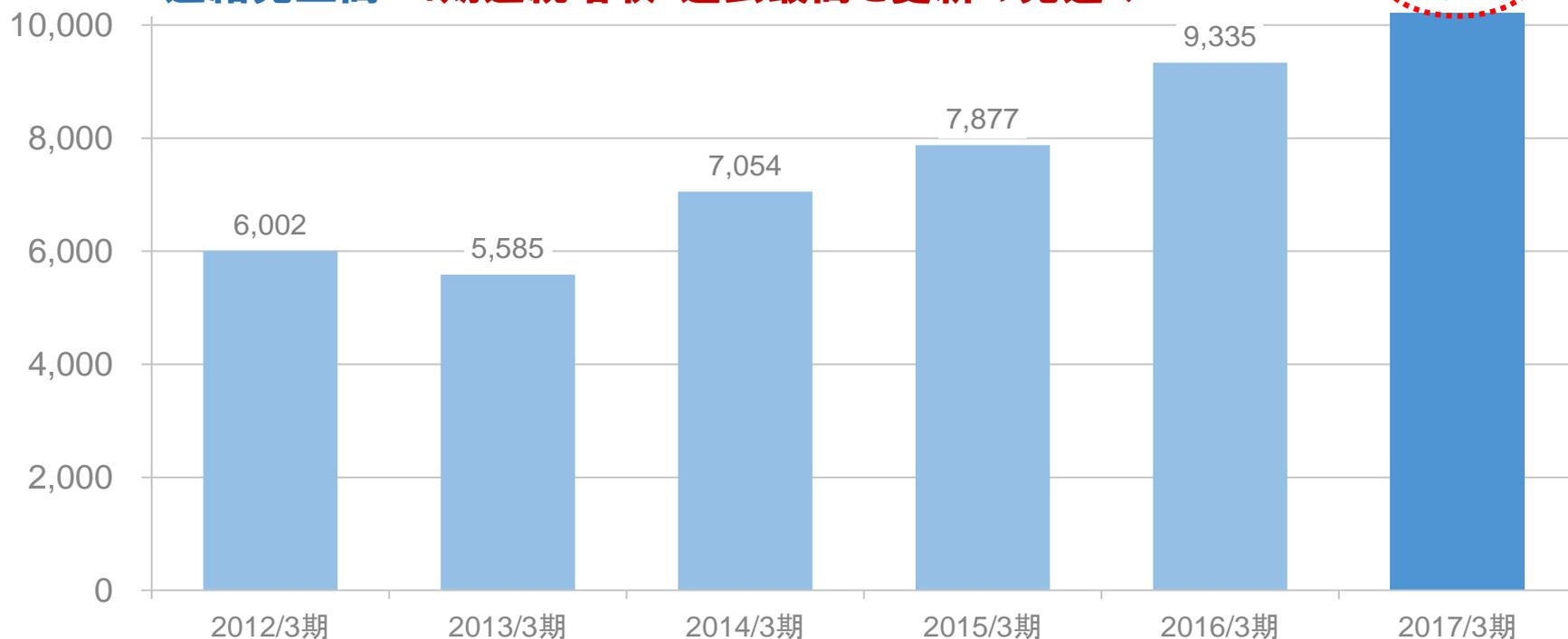
- ・釣具向け部品等の堅調に加え、スポーツ向け金属リストバンド、ウェアラブル関連の増収効果により増益を見込む。

業績推移

(百万円)

連結売上高 4期連続増収・過去最高を更新の見込み

10,206



	2012/3期	2013/3期	2014/3期	2015/3期	2016/3期	2017/3期
売上高	6,002	5,585	7,054	7,877	9,335	10,206
営業利益	334	103	134	189	281	306
経常利益	295	105	123	161	97	231
当期純利益	296	90	114	120	49	352



1. 2016年3月期 業績概要

2. 2017年3月期 業績予想

3. 今後の戦略



『ASEAN Project』の概要

1st Stage

生産能力
の増強

2013年度～2014年度

- ◎ カンボジア工場の新設、労働集約型製品の生産移管
- ◎ ベトナム工場は高付加価値の提供へとシフト及び自動化の推進

2nd Stage

サプライチェーン構築
と
技術力の強化

2014年度～2016年度中盤

- ◎ カンボジア工場の敷地内へ、中国内の当社協力工場を誘致
- ◎ ベトナム工場の移転拡張による高付加価値製品の増産
- ◎ ベトナム工場の表面処理能力の増強

3rd Stage

さらなる
付加価値提供

2016年度中盤～

- ◎ カンボジア工場の敷地内における本格的な生産拡大
- ◎ 次の成長に向けた新たな製品領域への挑戦



外部環境の変化と、当社の対応

2010年頃～

中国内の部品工場が
相次いで倒産・廃業

人件費の高騰
慢性的な人手不足
熟練工の高齢化・不足

2013年頃～

中国内の部品工場が
倒産・廃業が加速

オーナーの高齢化もあり
倒産・廃業が加速
腕時計メーカー各社は
調達先を中国外にシフト

2015年頃～

国内腕時計メーカーの
高級品が販売好調

国内外ともに、中～高
価格帯製品の販売増加
高付加価値な部品への
需要が増加

ASEAN Project を策定

生産能力の単純な増強
ではなく、ASEANの
今後の成長も取り込む
計画を策定

設備計画を前倒して対応

ベトナムの自動化設備
の導入を前倒し
カンボジアへの生産移管
の導入を前倒し

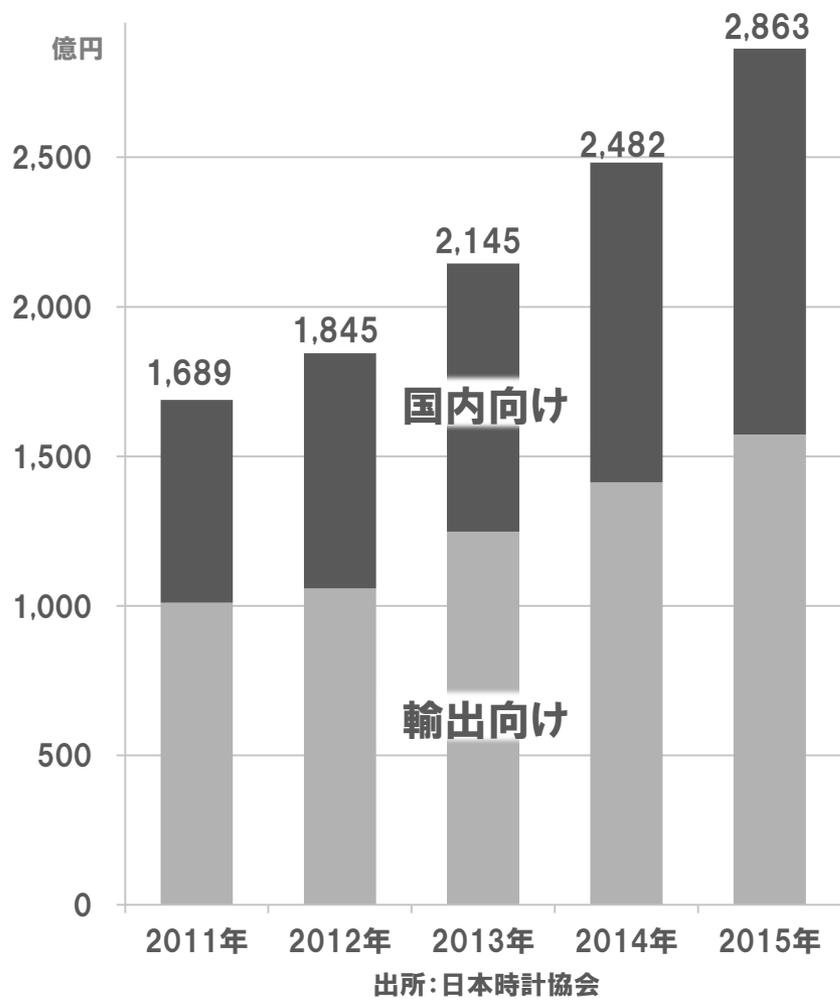
表面処理能力を増強

ベトナムに最新のDLC
設備を導入
表面処理専用となる
ベトナム第4工場を建設

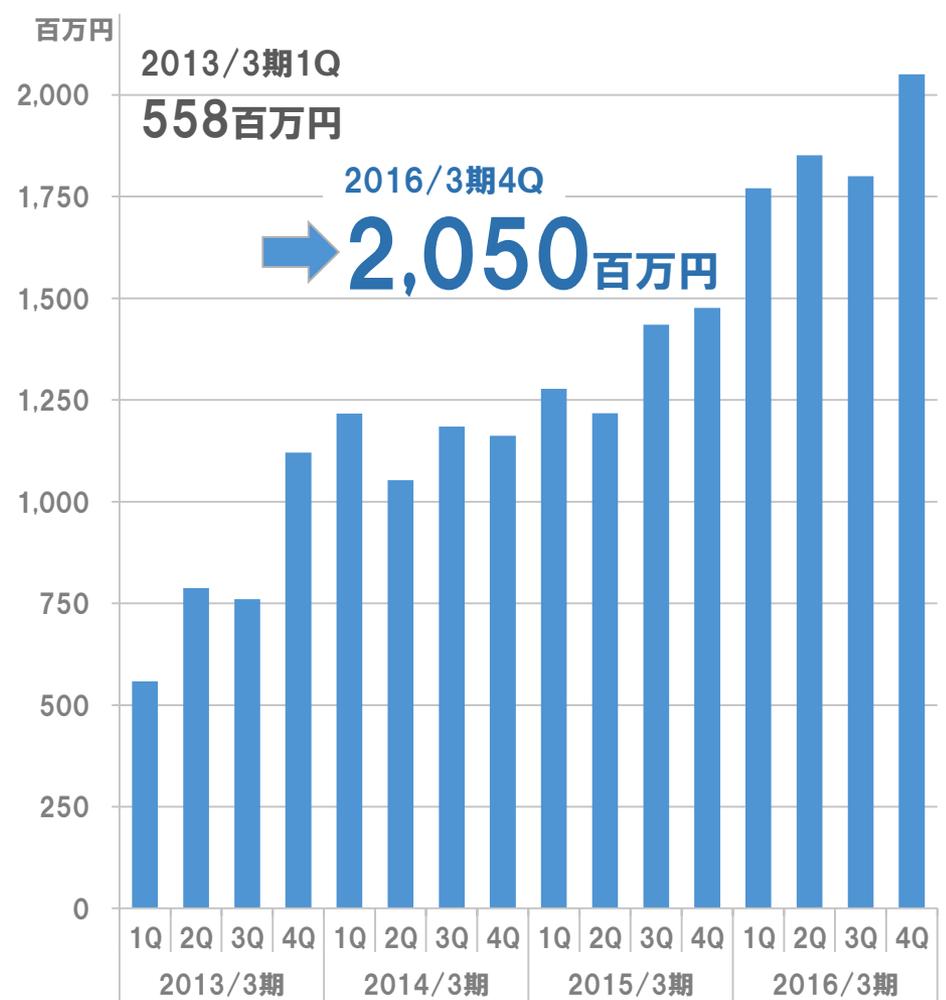


国内腕時計メーカーの販売好調と、当社製品への需要増

国内腕時計メーカーの出荷額の推移



当社の時計関連 受注高の推移 (四半期別)



1st Stage

カンボジア新工場の設立・稼働

本格稼働となり、ベトナムからの生産移管が急ピッチで進んでいます

NISSEY

NISSEY Cambodia Co., Ltd



名称 NISSEY CAMBODIA CO.,LTD.

操業 2014年 年初から

所在地 Dragon King SEZ, Prey Angkunnh Commune,
Bavet City, SvayRieng province, Cambodia
ドラゴンキング SEZ、カンボジア国スバイリエン州
バーベット市プレイアングン地区

代表者 岡林 博

資本金 5千万円

出資者 日本精密株式会社(100%)

決算期 12月31日

事業内容 時計外装部品等の製造、販売





1st Stage

基幹工場ベトナムの強化

ベトナム工場の生産効率向上に向けた取り組みを実施しております

- ① 半自動化・オートメーション化 → 前倒して設備投資を実施
- ② 金型製作の強化 → 今後の製造品目・数量の増加へ対応し、同時に原価率も低減
- ③ 高級腕時計バンドの製造 → 顧客ニーズに応えた高付加価値製品の製造
- ④ 新規製品の製造 → 顧客のニーズに応え、新たな製品分野にも進出

例)半自動化設備



CNCドリルマシン



CNCドリルマシン



CNCドリルマシン



2nd Stage

セイコーと新規取引を開始 高付加価値製品の増産

新規取引先への高付加価値製品の提供を開始いたしました。

国内時計メーカーの状況

高級品の販売が好調

- ・マーケティングの成功による世界的な販売好調
- ・インバウンド需要の増加
- ・スイス時計高級メーカーの値上げ

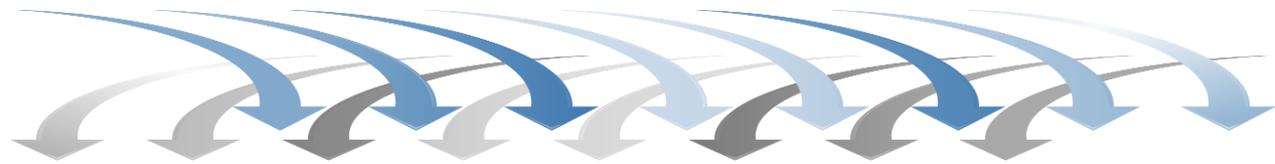


発注先がない状況

部品メーカーの状況

増産への対応が困難

中国国内の時計関連部品メーカーはさらに撤退・廃業が加速。
中国内では増産依頼への対応先や、新規調達先を見つけることは困難。



新規取引の概要

- (1)時計関連部品の概要
高価格帯製品向け腕時計チタン無垢バンド等
- (2)納品開始時期
2015年5月末より
- (3)採用されるモデル
セイコー社のGPS機能付き腕時計のチタン無垢バンド全て

2nd Stage

表面処理技術の強化 最新技術でさらなる高付加価値を提供

表面処理技術DLC(ダイヤモンドライクカーボン)の設備導入をいたしました



商品訴求力

新規改良設備の導入により、耐摩耗性の向上による商品の訴求力が得られます。

高付加価値

高級無垢バンド等の更なる高付加価値化と一貫生産による大幅な工期短縮になります。

オリジナル設計

当社オリジナルの設計で設備を製造しており、今後の新色等の要請にも対応可能です。



当社ベトナム工場に設置したDLC表面処理設備

基幹工場であるベトナム工場に最新の表面処理技術DLC設備を導入し、高付加価値製品の製造と収益性の向上を図ります

2nd Stage

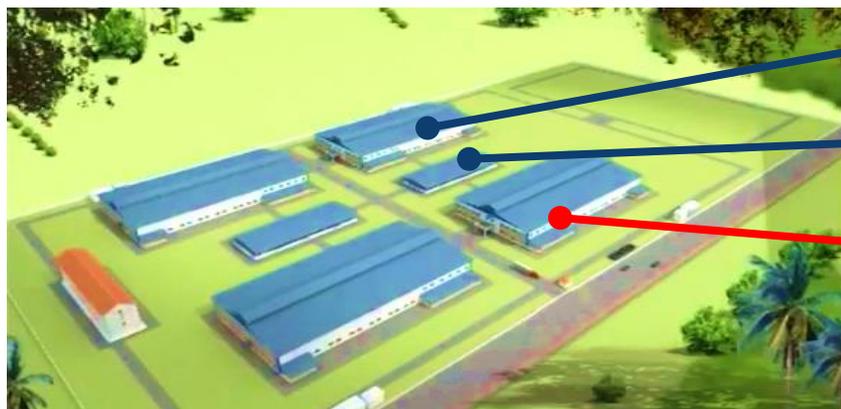
サプライチェーンの構築 カンボジアへ協力工場を誘致

中国の協力工場をカンボジアに誘致し、サプライチェーンを構築中。

サプライチェーンの構築構想

カンボジア新工場の129,600㎡に及ぶ広大な当社敷地内に、製造メーカーの苦境が続く中国内の当社協力工場を誘致し、一大サプライチェーンを構築。

- ①時計関連の中国部品メーカー(当社の協力工場)を敷地内に誘致
- ②当社工場を中心に時計関連部品の一大サプライチェーンを構築
- ③カンボジア工場が、顧客の需要を取りまとめ一括受注
- ④検品業務等も含め顧客に一括して販売



当社カンボジア工場

共用食堂棟

誘致工場(工場建設済み)

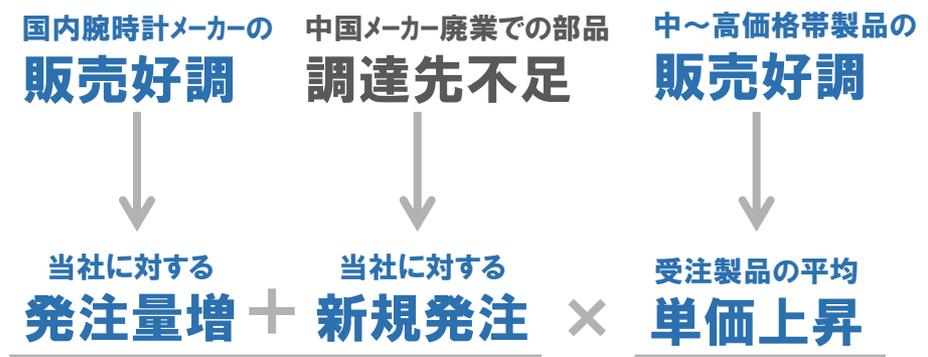
2015年7月からの操業開始



4年間で、時計関連の生産高を約4倍弱にまで増強

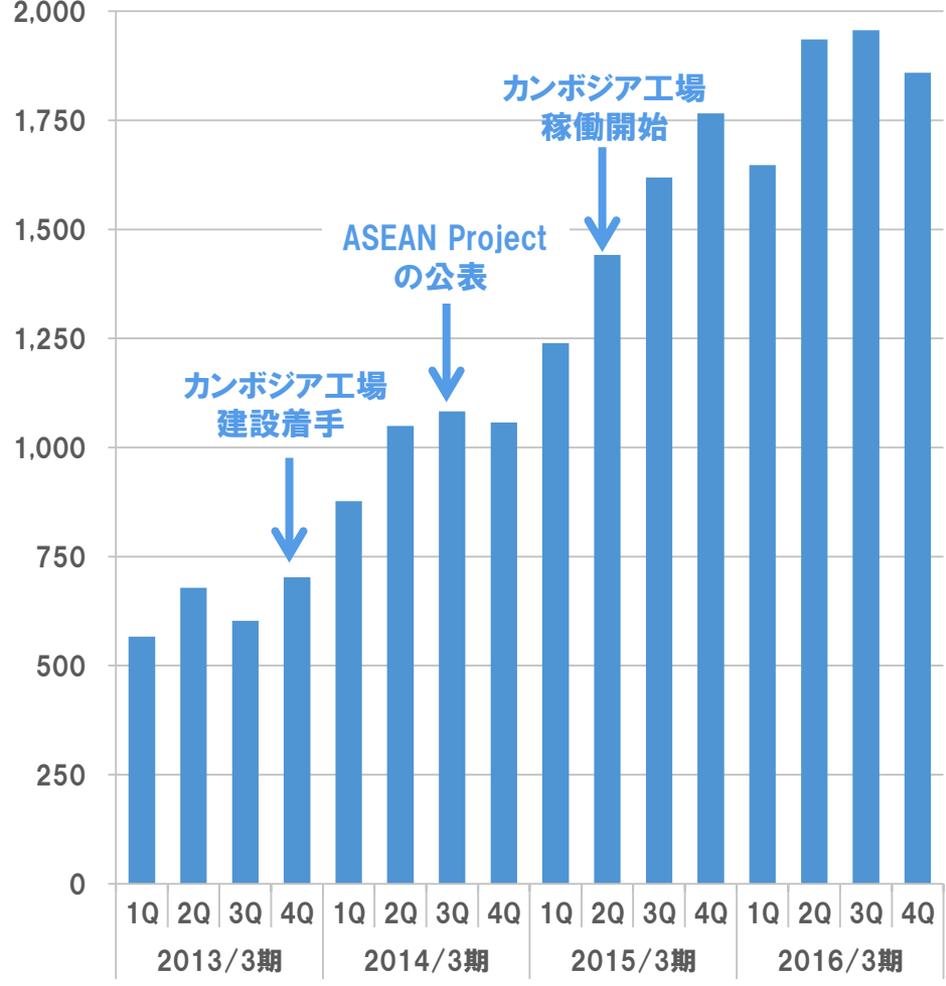
● 四半期 生産高

2013/3期1Q 2016/3期4Q
 567百万円 ➔ 1,859百万円



生産数量(品質)と高付加価値の両面で、顧客のニーズに応えるべく、生産能力を拡充してまいりました

百万円 時計関連 生産高の推移 (四半期別)





ASEAN Project IV期、V期目に向けて

高付加価値製品の供給能力の拡充

ベトナム第4工場の竣工と、表面処理能力の拡充

カンボジアでの新たな生産能力の拡充

新規国内時計製造会社との長期安定供給契約の締結

新たな製品分野・領域への挑戦

ウェアラブル・デバイス向けに、当社製品を開発・提供



表面処理専用工場が竣工①

2016年5月、表面処理専用となる第4工場が竣工いたしました

建設場所

ベトナム工場敷地内

使用目的

表面処理専用工場

第4工場建設に関する日程

(1)着工 :平成27年9月中旬

(2)竣工 :平成28年5月

(3)操業(予定):平成28年6月末

～7月初旬



第4工場(裏手)

表面処理用設備は、非常に重量が高いため設備設置は1Fのみとし、2F・3Fについては通勤する従業員用の駐車場としています。



表面処理専用工場が竣工 ② 能力向上、効率向上

設備の移管・集約、追加設備の導入により、大幅な能力増強を図ります

第4工場

2015年9月
着工



2016年6月～7月
操業(予定)



顧客からの
大量受注に応える
表面処理能力の
大幅な増強



表面処理設備
を設置

第2工場

現在、表面処理設備を設置



設備移管後に地盤検査等を再度行い
今後の利用方法等について検討

表面処理専用工場が竣工 ③第1工場との連携

第1工場に隣接しており、さらに生産効率を向上させることができます

第1工場

- ・プレス
- ・機械加工
- ・溶接
- ・バフ研磨

第3工場

- ・CNC旋盤等の自動化設備

第4工場

- ・表面処理専用

第1工場に隣接して建設

※今まで表面処理設備を置いていた第2工場は、第1工場から400mの距離

さらに、第1、第4の両工場間を渡り廊下で結ぶことによって生産効率の更なる向上を目指しています

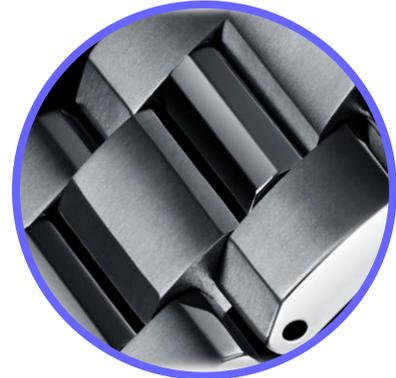


表面処理専用工場が竣工 ④高付加価値製品の増産

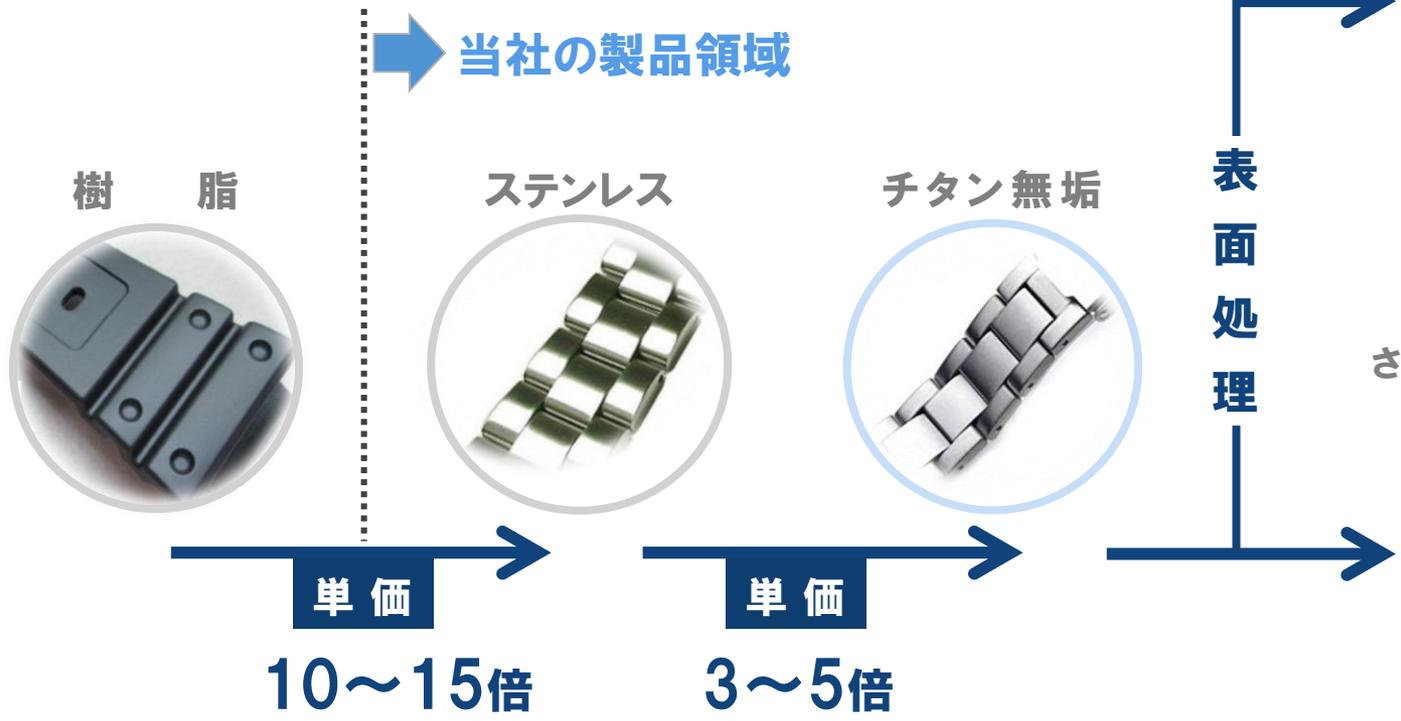
付加価値 = 素材 + 加工技術 + 表面処理技術

表面処理能力の増強により、高付加価値製品となるDLC、IP処理を行った高付加価値製品の増産を図ってまいります。

DLC (ダイヤモンドライクカーボン)
さらに **35~45%** アップ



IP (イオンプレーティング)
さらに **20~30%** アップ



長期安定製品供給の合意締結 ①10年間の安定供給

新規国内時計製造会社と、10年間の安定供給契約を締結

国内時計製造会社

中国国内の時計関連部品メーカーは
今後も撤退・廃業が続くと予測。

中国国内で、今後も部品の調達を続ける
ことは事業上のリスクが高い。

中国外で、安定した長期に渡っての
部品調達が可能な供給先を求める

長期的・安定的な製品生産と継続供給
の保証が、今後の自社製品の増産には
不可欠。

安定供給の保証の対価として、調達先
に生産準備金を支払うことは、中国に
投資するよりもリスクが低い。

長期安定製品供給に関する合意

日本精密グループ

当社は、ASEANで稀有な一貫生産
体制を既に構築。

長年に渡る実績で、技術・品質・安定
供給の能力は証明済み。

広大なカンボジア工場敷地内には、
まだ新たな工場建設の余地あり。

生産準備金を受領。

その資金を用いて、カンボジア工場の
敷地内に新工場を建設。

新工場での生産により、10年間の
安定した製品供給を保証。

長期安定製品供給の合意締結 ②カンボジア・メタルの設立

安定供給に関する合意を受け、新子会社カンボジア・メタルを設立

● 生産準備に向け新子会社を設立

名 称 NISSEY CAMBODIA METAL CO.,LTD.

設立年月 平成 28 年 7 月(予定)

所 在 地 カンボジア王国
※当社カンボジア工場敷地内

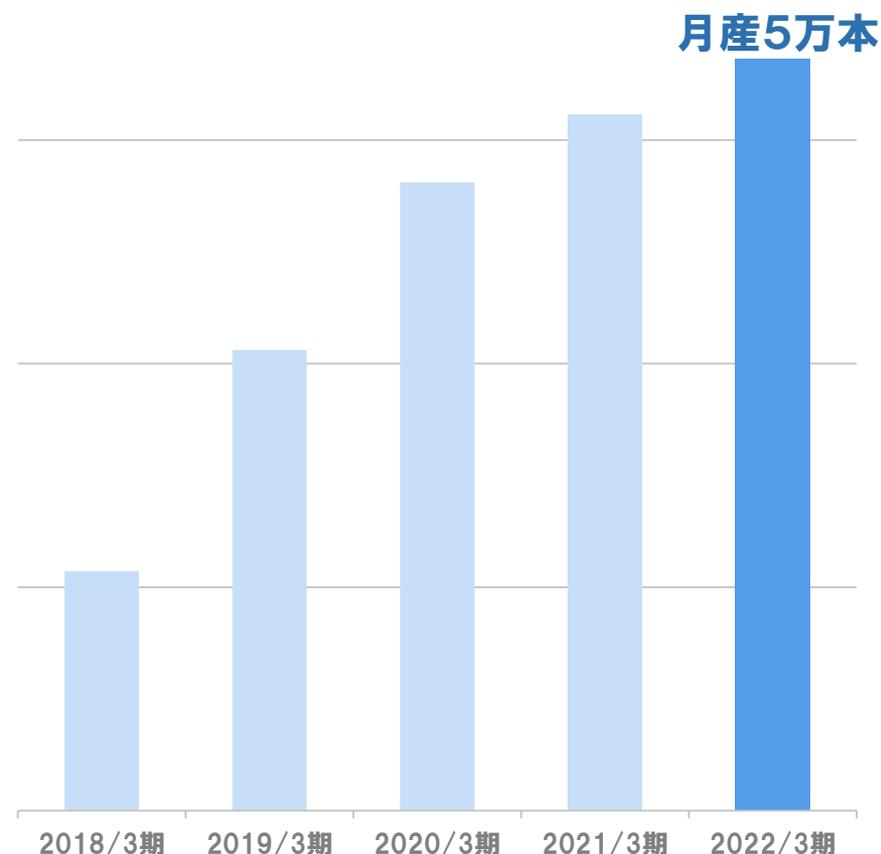
代表者名 岡林 博(当社代表取締役)

資 本 金 9 千万円

出 資 者 日本精密株式会社(100%)

- 長期安定供給契約に基づき、腕時計バンド(ステンレス無垢バンド)を生産
- 生産余力が有る場合には、他社向け製品の製造も可能
- 工場がフル稼働となる5年後には、最大で月産5万本の生産を計画

カンボジア・メタル 生産計画



その他の施策

メガネフレーム部門の改善に向けて

Mondottica社と合併会社を設立

村井との合併会社を通じ日本人の顔にフィットする商品を開発・販売。



世界約80カ国で展開する
Mondottica社と合併会社を
設立。

村井の企画開発力により、
ブランド化だけの商品ではなく、
日本向け商品を開発・販売



Mondottica International Limited

2002年に香港で設立。
2003年からイギリスで販売を開始した
「TED BAKER」のアイウェアで急成長し、
2005年からは「HACKETT」アイウェアの
販売も開始。品質・デザイン・ブランド力に
より、ファッション業界全体でも高い評価。
現在は世界的な11ブランドのライセンス
を有し、ヨーロッパ各国に加え、アメリカ・
オーストラリアなど世界80か国以上に
展開。アパレル・鞆などにも製品領域を
拡大しつつ現在も成長中。



本体部門と村井の協業

独自に事業を展開していた
両社が今後は協力体制を強化。

ファッション性に富む村井の企画力と
金属加工・コンポジット技術を有する
当社の協力体制を組織面でも構築。

本体部門

金属加工・表面処理技術
金属×樹脂のコンポジット技術



村井

企画開発力
ファッション性



さらなる付加価値提供





さらなる付加価値提供～ウェアラブル端末への展開

各種ウェアラブル端末

時計型



眼鏡型



リストバンド型



...

高度な配線の内蔵を可能とするための**技術**

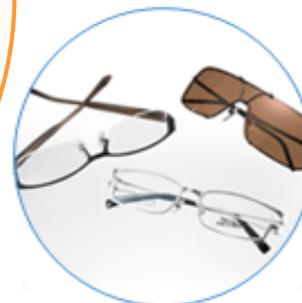
- ・金型の製作技術
- ・金属加工の技術



時計関連で蓄積した
技術・知見

『身に着ける』ということに関する**知見**

- ・素材選定の知見
- ・製品形状の知見



メガネフレームで蓄積した
技術・知見



最後に

メーカーの責務、かつ、当社の継続的な発展を目指して

人財採用・育成により、日本の“もの作り”技術の継承を行ってまいります

従来：日本 → ベトナム → カンボジア

今後：日本で採用した新卒社員をベトナムで
次の世代の技術者として育成

人財育成

技術の継承

人財採用

従来：第2新卒を中心に採用

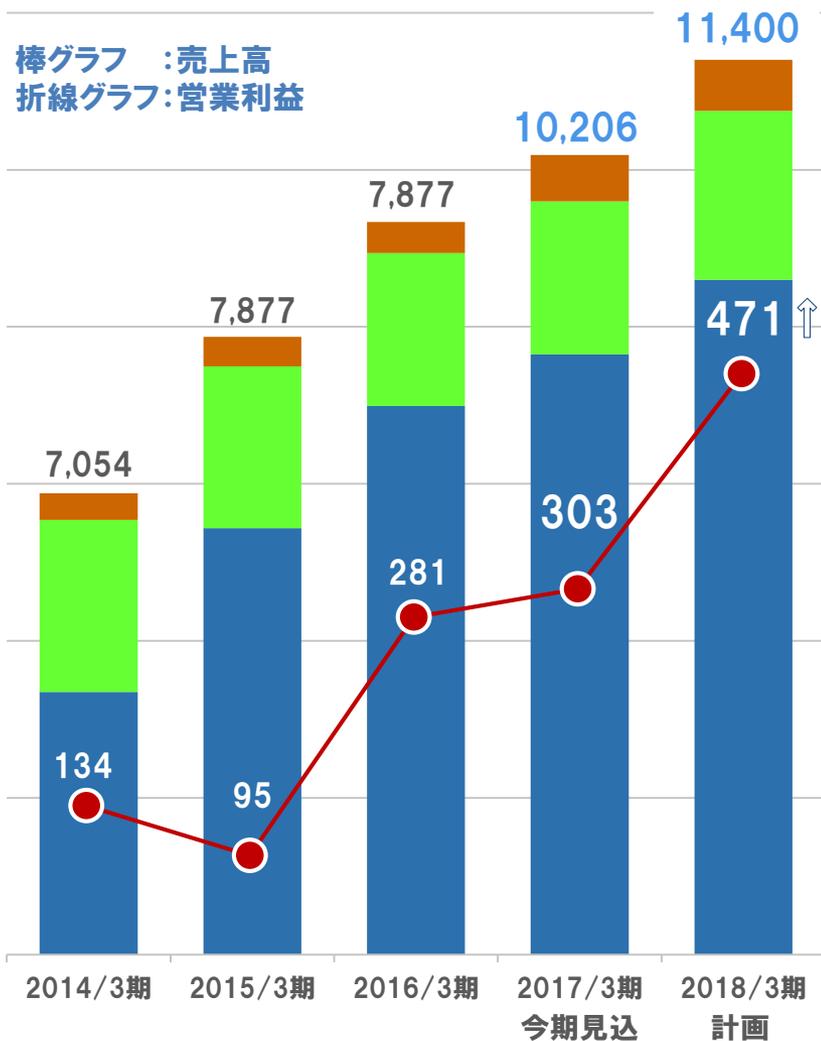
今後：新卒を中心に積極採用
さらに、女性社員を積極登用

中期経営目標

連結

単位:百万円	ASEAN プロジェクト				
	I 期	II 期	III 期	IV 期	V 期
	2014/3	2015/3	2016/3	2017/3 今期見込	2018/3 計画
売上高	7,054	7,877	9,335	10,206	11,400
■ 時計関連	3,350	5,437	6,990	7,655	8,600
■ メガネフレーム	2,188	2,062	1,951	1,955	2,150
■ その他	343	376	393	596	650
営業利益	134	95	281	306	471 + α
経常利益	123	221	97	231	335 + α
当期純利益	114	187	49	351	220 + α

EPS	7.50円	11.71円	2.75円	19.19円	12円 以上
営業利益率(%)	1.9%	1.2%	3.0%	3.0%	4.1%以上





てのひらサイズの
ロマンを追いかけて

日本精密株式会社

www.nihon-s.co.jp

本資料は、2016年3月期の業績概要および2017年3月期業績予想、並びに今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は注記のない限り2016年3月31日現在の決算データ及び直近の事業データに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測などは、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。